

## 1.事業概要

### 1.1 目的

本事業は欧米豪のアクティブ層をターゲットに置き、高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、梶原町、中土佐町、四万十町)において、四万十川や同地域の自然・歴史・文化・アクティビティなどを独自のストーリーで紐付けた滞在コンテンツとして造成・磨き上げ、同地域において自律的・継続的な販売することができる体制を構築する。

また、旅行商品として、2021年度に販売が見込まれる水準となるようコンテンツを造成することを目的とする。

### 1.2 業務概要

事業名：高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、梶原町、  
中土佐町、四万十町)における滞在型コンテンツ造成事業

事業対象：高知県四万十市、須崎市、津野町、梶原町、中土佐町、四万十町

事業期間：令和3年6月7日(月)から令和4年3月11日(金)

商品造成のターゲット：欧米豪のアクティブ層

活用する観光資源：四万十川源流点から河口までの196kmと同地域の自然・歴史・文化・  
アクティビティ等

高付加価値・地域ならではのコンテンツを造成するための方針

⇒ 「四万十川上流から下流まで満喫するコンテンツ」と、「道中のオプションとして使える  
コンテンツ」を造成し、四万十川のアクティビティや文化的な観光資源を組み合わせる。



### 1.3 業務内容

#### ①事前調査(基礎調査/設定ターゲットの検証)

(一社)幡多広域観光協議会や日本政府観光局(JNTO)等が保有する既存データ等を活用し、ニーズ等(滞在コンテンツの内容や受入環境等)の調査を実施。また、対象地域の実情(観光資源や受入環境の課題点等)に関する情報を収集・整理・分析し、分析結果をもとに現状把握するとともに、課題について取り纏めた。

また、(一社)幡多広域観光協議会による宿泊旅行統計調査では、外国人延宿泊者数でアメリカが国・地域別で4位であり、過去ファムツアー等参加の主に欧米豪出身外国人専門家からの意見では、ターゲットとする欧米豪市場における四万十川の評価の高さを確認したが、地域経済分析システム(RESAS)の結果から、外国人の滞在が確認できる市町村は四万十川沿いでも偏りがある。本事業でより広域に四万十川を周遊させる取り組みを目指して、調査結果をもとに、対象地域の訪日外国人旅行者の実績及びニーズ、保有する観光資源等を勘案し、専門家等の外国人目線の意見等を取り入れ、ターゲット層の像を可能な限り詳細化した。

# 四国運輸局 高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、梶原町、中土佐町、四万十町)における滞在型コンテンツ造成事業 報告書概要版

## ②滞在コンテンツの企画・開発

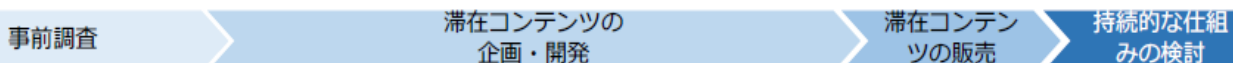
欧米豪のアクティブ層に訴求する付加価値の高い滞在コンテンツの選定/  
 滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売に対する助言ができる外国人専門家  
 や外国人アドバイザー等を招請するモニターツアー・検討会/  
 滞在コンテンツの開発・磨き上げ/  
 滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売等に関する助言ができる旅行会社等を  
 招請するモニターツアー・検討会/  
 滞在コンテンツの更なる磨き上げ

## ③滞在コンテンツの販売(販売戦略の策定/販売戦略の実施)

造成された滞在コンテンツ・ツアーを事業実施中1か月以上の期間を設けて販売を実施・内容検討

## ④持続的な仕組みの検討(来年度以降のロードマップの作成)

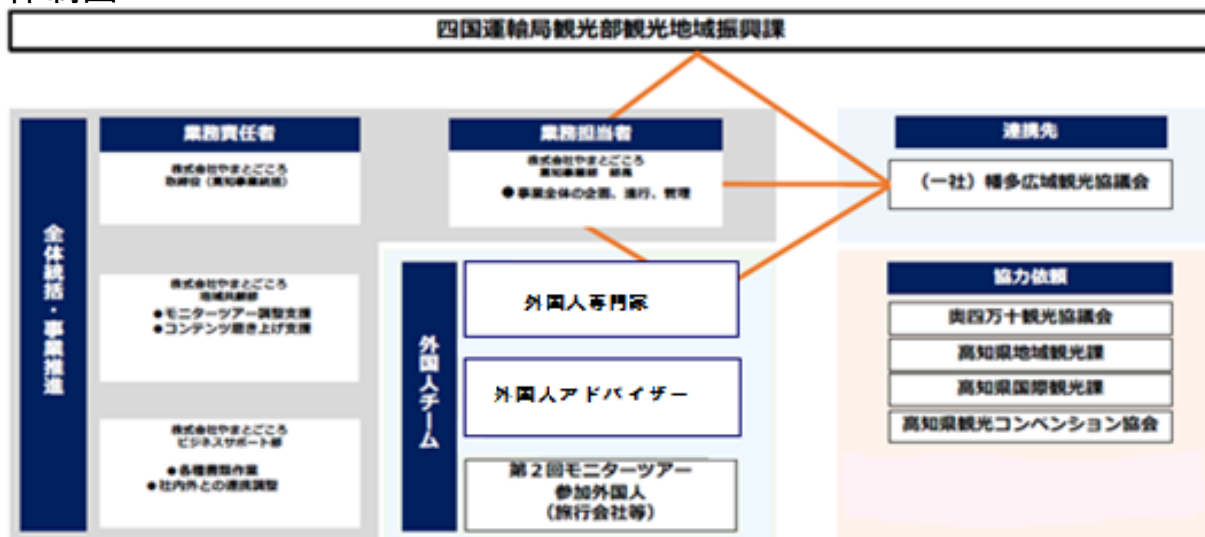
販売状況を分析し、事業実施以降も維持・継続させていく仕組みの構築について、検討



## 1.4 事業工程

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全体統括	経費計画書提出・通知					中間報告書(案)作成	中間報告書(案)提出	最終報告書(案)作成	最終報告書(案)提出		
事前調査	基礎調査 設定ターゲットの検証	調査例: 高知県への訪日外国人の動態分析									
滞在コンテンツの企画・開発	モニターツアーの募集	第1回モニターツアー	滞在コンテンツの磨き上げ		第2回モニターツアー	滞在コンテンツの更なる磨き上げ					
滞在コンテンツの販売							販売戦略の策定	販売戦略の実施補助	販売		
持続的な仕組みの検討								来年度以降のロードマップの作成			

## 1.5 体制図



## 2. 事前調査

### [調査概要]

幡多広域観光協議会が有するデータや日本政府観光局(JNTO)等の既存データ等を活用し、訪日外国人旅行者の滞在コンテンツに関するニーズ等(滞在コンテンツの内容や受入環境等)の調査を実施。

また、事業対象地域の実情(観光資源や受入環境の課題点等)に関する情報を収集・整理・分析し、分析結果をもとに事業対象地域の現状を把握するとともに、課題について取り纏めた。

### [調査結果から得られた成果]

幡多広域観光協議会による宿泊旅行統計調査ではアメリカが国・地域別で4位であり、過去のファムツアー等に参加した主に欧米豪出身の外国人専門家から出た意見からは、ターゲットとする欧米豪市場における四万十川の評価の高さが確認できた。

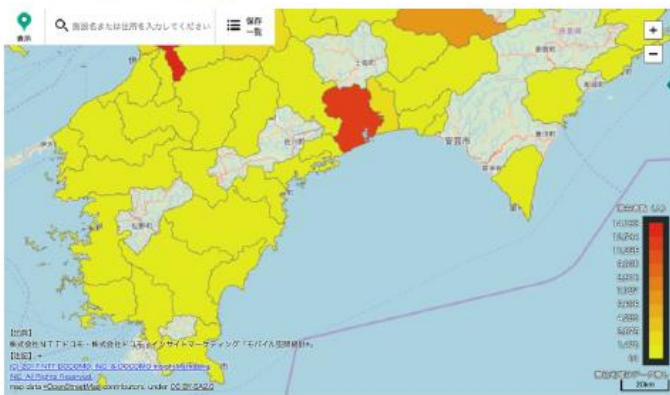
地域経済分析システム(RESAS)の結果から、外国人の滞在が確認できる市町村は四万十川沿いでも偏りがある。本事業ではより広域に四万十川を周遊させる取り組みを目指していく。

## 2.1 基礎調査

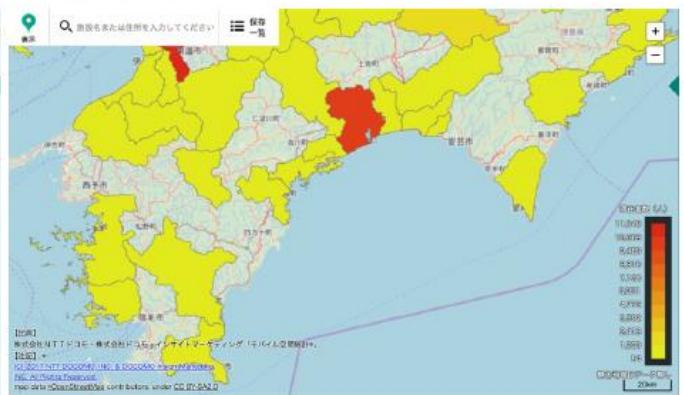
### 調査例:高知県への訪日外国人の動態分析

#### ②2019年4月(春季)

##### 昼間(10~18時)



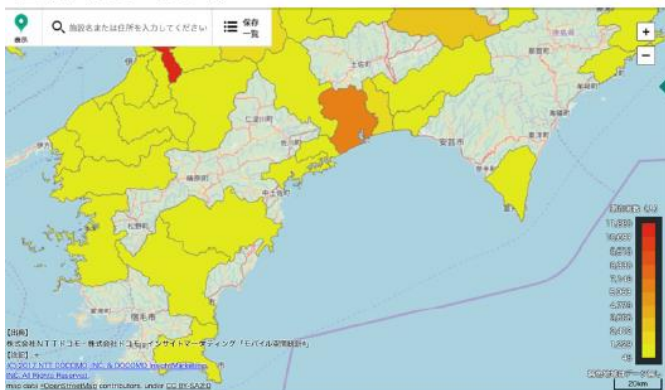
##### 夜間(2~5時)



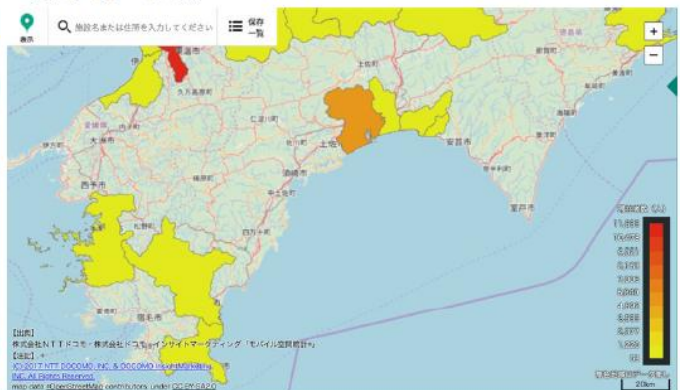
- 本事業の対象区域では、昼間は、四万十市、四万十町、梶原町、中土佐町、須崎市に外国人訪問者が確認できる。夜間は、四万十市、梶原町、中土佐町、須崎市に月間約1,400人以上の外国人訪問者がいる。
- 1月と比較すると全体的に訪問者数が増えている傾向にある。

#### ①2019年1月(冬季)

##### 昼間(10~18時)



##### 夜間(2~5時)



- 本事業の対象区域では、昼間は四万十市、四万十町、須崎市に外国人訪問者が確認できる。夜間は、四万十市に外国人訪問者がいる。
- 夜間の数字から宿泊者は高知市周辺と四万十市・土佐清水市に集約されていることがわかる。

# 四国運輸局 高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、 梶原町、中土佐町、四万十町)における滞在型コンテンツ造成事業 報告書概要版

国別の特徴調査例: オーストラリア(アメリカ/イギリス)

## オーストラリア

オーストラリアからの訪日旅行者数(2019年) : 62.2万人  
日本滞在中の1人当たりの支出額(2019年) : 24.8万円

旅行者(観光・レジャー目的)の旅行手配方法(2019年)

- ・ 団体ツアーに参加 10.3%
- ・ 個人旅行向けパッケージ商品を利用 7.2%
- ・ 個別手配 82.5%

### ①オーストラリアからの訪日旅行者数

- ・ 日本政府観光局(JNTO)の統計では、2019年の訪日豪州人数は、前年比12.6%増の62万1,800人と、初めて単年で60万人台に達した。過去8年間、10%~20%の好調な伸びを記録しており、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、今後も増加が期待できる市場だった。
- ・ 観光庁の「訪日外国人消費動向調査(2018年)」によると、2018年の訪日豪州人の平均滞在泊数は13.3泊であった。訪日豪州人の中には欧米へ向かう経由客も含まれているが、経由客は日本での滞在日数が短く、訪日豪州人全体の平均滞在日数を押し下げていることから、実際の訪日豪州人観光客の滞在日数はこれより長いと見られる。
- ・ 訪日豪州人は、1人当たりの旅行支出が高いことが特筆される。同調査では、調査対象20市場の中で、豪州人の旅行支出が最も高く、24万2,041円であった。買い物台がアジア市場からの訪日旅行者に比べて少なく、娯楽・サービス代(体験費用など)が多いことが特徴として挙げられる。

日本とオーストラリアとの週間航空便数(2019年夏期)

空港名	都市名	航空会社名	便数
成田空港	ケアンズ	ジェットスター	7
	ブリスベン	カンタス航空	7
	ゴールドコースト	ジェットスター	7
	シドニー	日本航空	7
	メルボルン	日本航空	7
羽田空港	シドニー	全日空	7
		カンタス航空	7
関西空港	ケアンズ	ジェットスター	4
	シドニー	カンタス航空	4

## 2.2 地域の状況整理

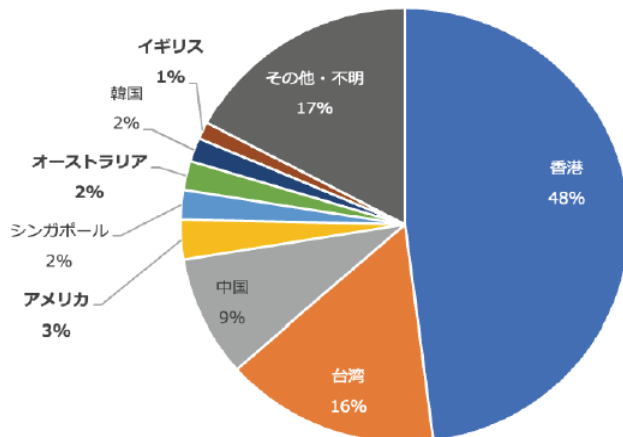
事業対象エリアのインバウンドの周遊動態、受入の実情等を取り纏め、整理することによりコンテンツ抽出方針の作成に活用した。

幡多広域観光協議会が市町村の協力のもと実施している宿泊旅行統計調査によると、新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年(2019年)には、四万十市に宿泊した外国人旅行者はのべ7,980人泊(前年比132.1%)だった。国・地域別では香港からの旅行者が最も多く全体の約半数を占める。本事業の対象となるアメリカからは235人泊(前年比242.3%)、オーストラリア172人泊(同165.4%)、イギリス102人泊(同178.9%)と近年欧米豪からの旅行者が増加傾向にあった。

なお、本宿泊旅行統計調査は旅館組合に加盟していない民泊施設等は含まれていない。欧米豪からの旅行者には、ゲストハウスやairb&b等の宿泊形態も人気であることから、欧米豪からの旅行者は統計値以上に幡多地域に滞在していることが推察される。一部の民泊施設へのヒアリングによると、2019年までは約50%以上が外国人旅行者だったという声もある。

令和元年 四万十市における外国人旅行者のべ宿泊者数

	国・地域	人泊	前年比
1	香港	3,828	156.6%
2	台湾	1,237	159.0%
3	中国	713	85.7%
4	アメリカ	235	242.3%
5	シンガポール	176	366.7%
6	オーストラリア	172	165.4%
7	韓国	142	17.7%
8	イギリス	102	178.9%
	その他・不明	1,375	157.1%
	合計	7,980	132.1%



出典：幡多広域観光協議会「宿泊旅行統計調査」

## 2.3 設定ターゲットの確認

調査結果を踏まえて設定ターゲットを下記のとおり確認した。

### ①欧米豪出身のサイクリング愛好家

出身国：アメリカ、オーストラリア、欧州等  
年代：30～50代  
グループ構成：愛好家同士で小グループ

特徴：

- 1日の走行距離は70～100km程度。
- わざわざ四万十川まで来てサイクリングをするのであれば、長距離乗りたいニーズが高いと想定される。
- 自転車は自身のものを持ち込む人が多いが、レンタルのニーズもあり。レンタルの場合は、体格が大きい人が多いので注意。
- アスリートの人が多い。ニッチな市場ではあるが確実に存在するマーケット。
- サイクリング仲間や旅行会社等の口コミが重要。

コンテンツのポイント：

- 日本最後の清流四万十川を上流から下流まで下るということが大きなストーリーとなる。
- しまなみ海道は誰でもできるのでつまらないという意見の人により強度の高いアクティビティとしてルートを提供。

### ②欧米豪出身のウォーキング愛好家

出身国：アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス等  
年代：50～70代  
グループ構成：夫婦などカップル等

特徴：

- 1日の歩行距離は人による。1日に30km程度歩く人もいる。
- 時間とお金に余裕がある。
- 好きなものを食べたり、飲んだりするために昼間運動する。
- グルテンフリーやベジタリアンなど食事制限のある人もいる。
- 5星の洋式のホテルではなく、日本のそのままの文化を体験してみたいという人はオーストラリアやニュージーランドに多い。

コンテンツのポイント：

- 四万十川を上流から下流まで歩くことはストーリーとしては魅力的。
- ただ歩くだけでなく、適度な感覚で見るべきスポットがあることが重要。
- 舗装された道は疲れるので山の中など土の上を歩ける方が良い。
- 自分が旅人になり、背景にあるストーリーを体験できる。
- 人の気配を感じない場所は日本では珍しい。ありのままの日本を感じられる。
- エコやSDGsと絡める。

### ③欧米豪出身のアクティブ層

出身国：アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス等  
年代：40～60代  
グループ構成：ファミリー、カップル、団体客（日本国内の外資系企業の社員旅行など）、  
トラベルクラブ、米軍基地

特徴：

- いろんなアクティビティを経験してみたい。
- ある程度お金はあり、日本のこともある程度知っている。

コンテンツのポイント：

- 四万十川を上流から下流まで歩くことはストーリーとしては魅力的。
- グループに合わせてカスタマイズする。
- この3つであればサイクリングが本格的に取り組む人よりは弱いですが、下り中心なので問題ない。

### 3. 滞在コンテンツの企画・開発

#### 3.1 滞在コンテンツの選定検討会の実施概要

以下の日程においてコンテンツ検討会を実施し、5つの項目のコンテンツ選定基準により評価し整理した一覧を参加者へ共有し、コンテンツ選定に向けた意見交換を実施した。

[検討概要]

コンテンツ検討会に先立ち参加DMOからコンテンツ候補提出を受け、コンテンツ検討会において想定コンテンツを14コンテンツ提出。コンテンツ選定基準と外国人専門家による評価をもとにコンテンツ候補を検討した。

[検討会で得られた成果]

「カヌー、サイクリング、ウォーキングのそれぞれのアクティビティで四万十川上流から下流まで満喫できるコンテンツ」を3コンテンツ選定、「道中のオプションとして使えるコンテンツ」の候補を5コンテンツ選定した。

	検討会日程			
	時間	場所	参加有識者	テーマ
滞在コンテンツの選定検討会	令和3年6月28日 10時～12時	オンライン	外国人 専門家1名	・事前調査結果の報告 ・コンテンツ選定(カヌー、サイクリング、ウォーキングのそれぞれのアクティビティで四万十川上流から下流まで満喫するコンテンツ3個以上、道中のオプションとして使えるコンテンツ3個以上を抽出)

#### 3.2 コンテンツ選定基準

下記コンテンツ選定基準コンテンツ選定基準に基づき、コンテンツ選定を実施。

	コンテンツ選定の視点	ポイント
1	事業の目的との整合性	カヌー、サイクリング、ウォーキングのそれぞれのアクティビティで四万十川を上流から下流まで満喫するコンテンツ、もしくは道中のオプションとして使えるコンテンツのいずれかに該当するか。
2	ターゲットの嗜好	設定ターゲットの嗜好と一致するものか。
3	ストーリー性	設定ターゲットの旅行者にとって、コンテンツの背景にあるストーリーを感じられる内容か。
		他地域にはない、自地域ならではのものか。
		他の観光資源を組み合わせることで他地域と差別化がはかれるものか。
		新たな付加価値をつけることで他地域と差別化がはかれるものか。
4	受入体制	ガイドが必要なコンテンツについては、ガイド候補者がいるか。
		受入事業者が外国人観光客の受け入れに前向きで、本事業終了後も継続した取り組みが期待できるか。
5	販売	令和4年2月末までに1ヶ月以上の販売期間を設けることができるか。

四国運輸局 高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、  
 梶原町、中土佐町、四万十町)における滞在型コンテンツ造成事業 報告書概要版

3.3 コンテンツ評価・選定

コンテンツ選定基準ごとのコンテンツ評価を整理すると以下の通り。コンテンツ選定基準の2、3については外国人専門家のコメントを元に整理し、4から5については事務局がDMOへヒアリングの上で記載した。

	分類	プログラムの名称(仮)	エリア	1	2	3	4	5
				事業の目的との整合性	ターゲットの嗜好	ストーリー性	受入体制	販売
1	サイクリング (ガイドツアー)	All Over The Shimanto Tour	上流～下流	○ (満喫)	◎	◎	○	○
2	サイクリング (ガイドツアー)	Train & Long Ride Tour	中流～下流	○ (満喫)	△	△	○	△
3	サイクリング (ガイドツアー)	Tea Valley Down Hill Cycling (またはeバイク)	上流域 (新庄川)	○ (オプション)	○	○ (日本=お茶。オプションなので差別化不要)	○	○
3b	ウォーキング	Tea Valley Walk	上流 (新庄川)	○ (オプション)	○	○ (同上)	○	○
4	ウォーク (ガイドツアー)	源流点ウォーク	上流	○ (オプション)	○	◎	○	○
5	ウォーク (ガイドツアー)	四万十川右岸ウォーク	中流～下流	○ (満喫)	△ (舗装されていない道で四万十川を見ながら歩けるか)	○ (ルート次第)	○	○
6	ウォーク (ガイドツアー)	水生昆虫からSDGsを考える 黒尊川に沿って歩く旅	下流域 (黒尊川)	○ (オプション)	× (舗装されていない道がほしい)	○ (黒尊川自体はOK)	○	○
7	ウォーク	天空を歩く！天狗高原ウォーク (またはeバイク)	上流域 ※源流点より更に上	○ (オプション)	○	○ (プラスαで違う景観を楽しむ)	○	○
8	カルチャー (ガイドツアー)	森の町梶原散策と炭焼き体験	上流域 (梶原川)	○ (オプション)	×	△	○	○
9a	カルチャー	手すき和紙と日本の森の暮らし体験	上流域 (梶原川)	○ (オプション)	○	◎	◎	◎
9b	カルチャー	森の国サイクリングと紙漉き体験	上流 (梶原川)	○ (オプション)	○	◎	○	○
10	カルチャー (ガイドツアー)	窪川まち歩き	中流域	○ (オプション)	△	△ (どうガイドが面白くなるか)	△ ガイド次第	○
11	アクティビティ (ガイドツアー)	2 DAYS カヌートレック	中流～下流	○ (満喫)	○	◎ 四万十川を満喫できる	○	△
12	アクティビティ (コーディネート)	川での釣り、川漁体験	下流域 (黒尊川)	○ (オプション)	○	○ 最後の清流で最も美しい支流での釣り	○ 地元川漁師に協力依頼	○
13	クラフト (コーディネート)	四万十の暮らしと鍛冶屋体験2日間	下流	○ (オプション)	◎	○ 田舎の音ながらを感じられる	◎	◎
14	旅 (コーディネート)	窪川～予土線～江川崎～(バスまたは自転車)～中村	中流～下流	○ (満喫)	△	△ これだけのためには来ない	△	○

検討会で選定された下記コンテンツを中心に第1回モニターツアーを実施する。

A. カヌー、サイクリング、ウォーキングのそれぞれのアクティビティで四万十川上流から下流まで満喫するコンテンツ

No.1 No.5. No.11

B. 道中のオプションとして使えるコンテンツ

No.3 No.6 No.12 No.8もしくはNo.9 No.13

# 四国運輸局 高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、梶原町、中土佐町、四万十町)における滞在型コンテンツ造成事業 報告書概要版

## 3.4 滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売に対する助言を求める外国人専門家や外国人アドバイザー等を招請するモニターツアー・検討会の実施概要

7月12日～16日にモニターツアー、8月4日に検討会が開催された。モニターツアー・検討会にはそれぞれ有識者が参加し、専門的な観点より課題点を抽出した。

### 〔検討概要〕

選定された滞在コンテンツの課題抽出と助言を得るため、欧米豪市場のアクティブ層の観点から、滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売に対する助言ができる外国人専門家及び外国人アドバイザー等を2名招請するモニターツアーを実施した。

### 〔第1回モニターツアーから得られた成果〕

外国人専門家意見より、「カヌー、サイクリング、ウォーキングのそれぞれのアクティビティで四万十川上流から下流まで満喫するコンテンツ」については、ルート上で組み込むべき内容の助言を得られた。「道中のオプションとして使えるコンテンツ」については、外国人専門家の意見より、No.6 黒尊川に沿って歩く旅、No.8 森の町梶原散策と炭焼き体験、No.13 四万十の暮らしと鍛冶屋体験2日間の3コンテンツを選定し、内容の検討を進めることとなった。

	モニターツアー日程		
	時間	場所	参加有識者
滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売に対する助言を求める外国人専門家や外国人アドバイザー等を招請するモニターツアー	令和3年7月12日～16日	高知県四万十市、須崎市、津野町、梶原町、中土佐町、四万十町	・外国人専門家 1名 ・外国人アドバイザー 1名



	検討会日程			
	時間	場所	参加有識者	テーマ
滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売に対する助言を求める外国人専門家や外国人アドバイザー等を招請するモニターツアー後に実施した検討会	令和3年8月4日 9時～11時15分	オンライン	・外国人専門家 1名 ・外国人アドバイザー 1名	・第1回モニターツアー実施報告 ・コンテンツ選定 ・今後の進め方

### コンテンツ評価シート例

コンテンツ名	コンテンツの評価	受入環境についての課題	販売に関する課題
黒尊川ウォーク	◎	サイクリングに最適。舗装されているけど川に降りてコーヒー作ったり、お弁当食べたりできるのでウォーキングにも良い。	ロングツアーに組み込んだ方がいいと思う。1-2時間川の説明ができるガイドがいればもっと良い。

3.5 第1回モニターツアーにおいて明らかになった課題と  
 その後改善・磨き上げたポイントについて

	コンテンツ名	第1回モニターツアーで明らかになった課題	その後の改善、磨き上げたポイント等
1	Shimanto Source to Sea Walking Tour (旧称) 四万十川ウォーク (ウォーキング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットとする層に魅力的な行程を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回モニターツアーに参加した外国人専門家にルートを提案いただき、それを参考にコンテンツを再構築し、第2回モニターツアーの行程に組み込んだ。</li> <li>第2回モニターツアーの結果を受けて行程を確定させ、地図等を含んだ案内用のツールを作成予定。</li> </ul>
2	All Over The Shimanto with Bike and Kayak (旧称) All Over The Shimanto Tour (サイクリング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターゲットとする層に魅力的な行程を検討する必要がある。</li> <li>サイクリングガイドや自転車の手配をどのようにするか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒潮町在住でサイクルショップを営むグランヴェロオーナーにガイドをお願いできることになった。自転車も貸し出してくれる。</li> <li>第2回モニターツアーでは、オーナー同行でグランヴェロの自転車をを用いて検証を行う。</li> </ul>
3	四万十川カヌートレック (旧称) 2 DAYS カヌートレック (カヌー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドが英語ができない。</li> <li>雨天時の対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2回モニターツアーに参加する旅行会社等の意見も踏まえた上で、ガイドングを補うためのツールを作成する。</li> </ul>
4	eバイクで森と里をトリップ 清流ロードサイクリング (旧称) 黒尊川に沿って歩く旅	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングにするのか、サイクリングにするのか検討が必要。また、行程をどのような形にするのか検討が必要。</li> <li>サイクリングの場合はeバイクが使えれば良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒尊川と目黒川沿いを走る40kmのルートを宿毛市観光協会のレンタルeバイクで外国人専門家と検証実施。ウォーキングではなく、サイクリングという形で商品化する。</li> </ul>
5	手すき和紙作り体験+梶原の町サイクリング (旧称) 森の町梶原散策と炭焼き体験、手すき和紙と日本の森の暮らし体験/森の国サイクリングと紙漉き体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>かみこやの紙漉き体験自体はコンテンツとして既に存在するので、翌日にウォーキングかサイクリングを加えることを要検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人専門家に、梶原町の脱藩の道サイクリングを試して頂いたところ高評価。</li> <li>ガイド候補の方及び梶原町観光協会と協議を行い、脱藩の道サイクリングを軸としてコンテンツ化する予定。</li> </ul>
6	四万十川観光と刃物造り鍛冶体験 (旧称) 四万十の暮らしと鍛冶屋体験2日間	<ul style="list-style-type: none"> <li>工房くろがねの鍛冶体験自体はコンテンツとして既に存在するので、プラスの要素を加える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四万十市中村の宿泊施設からの送迎に加えて、高瀬沈下橋立ち寄り、四万十川屋形船乗船、農家レストランでの昼食を加えた1dayの商品となるように企画。</li> </ul>
7	門前瀬路道レトロ日本トリップ (旧称) 窪川まち歩き	<ul style="list-style-type: none"> <li>バックアップの代替案があった方が良い。</li> <li>案内してくれる人がいたらより面白くなる。1～2時間程度が望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メインのコンテンツに組み込む形を想定しているが、バックアップの代替案として単独でもコンテンツと成り立つようにガイドと調整を実施。</li> </ul>

# 四国運輸局 高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、 梶原町、中土佐町、四万十町)における滞在型コンテンツ造成事業 報告書概要版

## 3.6 滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売等に関する助言を受ける旅行会社等を招請するモニターツアー・検討会の実施概要 (ウォーキング・サイクリングの2つのテーマに分けて2回実施)

### 【検討概要】

第1回モニターツアーで明らかになった課題やその後、開発・磨き上げた滞在コンテンツに対して、欧米豪市場のアクティブ層の観点から、滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売等に関する助言ができる旅行会社やランドオペレータ等を各回2社招請し、モニターツアーを実施した。

### 【第2回モニターツアーから得られた成果】

招請した旅行会社等の担当者より、旅行会社目線でのコンテンツの課題や受入環境の課題、及び販売に関する助言を得られた。

四万十川を上流から下流まで満喫するコンテンツについては、想定していたルートへの課題がより明確化され、コンテンツ内容の磨き上げにつながった。オプションとして紹介するコンテンツについても、ターゲットに合わせた形で内容の改善策や磨き上げに必要な要素についての助言を得られた。

### ①テーマ:ウォーキング

10月11日～15日にモニターツアーが開催された。モニターツアー・検討会にはそれぞれ旅行会社等が参加し、専門的な観点より課題点を抽出した。

	モニターツアー日程		
	時間	場所	参加有識者
滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売等に関する助言を求める旅行会社等を招請するモニターツアー(ウォーキング)	令和3年 10月11日～15日	高知県四万十市、須崎市、津野町、梶原町、中土佐町、四万十町	・旅行会社 2社



	検討会日程			
	時間	場所	参加有識者	テーマ
滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売等に関する助言を求める旅行会社等を招請するモニターツアー後に実施した検討会(ウォーキング)	令和3年 10月14日 17時半～ 19時	ホテル 星羅四 万十	・旅行会社 2社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回モニターツアー後の改善点等について</li> <li>・第2回モニターツアー実施報告</li> <li>・コンテンツへの評価と助言</li> <li>・コンテンツ開発・磨き上げについての意見交換</li> </ul>

### ②テーマ:サイクリング

10月22日～26日にモニターツアーが開催された。モニターツアー・検討会にはそれぞれ旅行会社等が参加し、専門的な観点より課題点を抽出した。

	モニターツアー日程		
	時間	場所	参加有識者
滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売等に関する助言ができる旅行会社等を招請するモニターツアー(サイクリング)	令和3年 10月22日～26日	高知県四万十市、須崎市、津野町、梶原町、中土佐町、四万十町	・旅行会社 2社



# 四国運輸局 高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、 梶原町、中土佐町、四万十町)における滞在型コンテンツ造成事業 報告書概要版

	検討会日程			
	時間	場所	参加有識者	テーマ
滞在コンテンツ企画・開発、受入環境及びその後の販売等に関する助言を受け旅行会社等を招請するモニターツアー後に実施した検討会(サイクリング)	令和3年 10月25日 17時20分～ 18時50分	四万十市立 文化センター	・旅行会社 2社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回モニターツアー後の改善点等について</li> <li>・第2回モニターツアー実施報告</li> <li>・コンテンツへの評価と助言</li> <li>・コンテンツ開発・磨き上げについての意見交換</li> </ul>

## 3.7 モニターツアー結果を踏まえての助言整理

No.	コンテンツ名	第2回モニターツアーで明らかになった課題	今後の改善、磨き上げのポイント等
1	All Over The Shimanto with Bike and Kayak (四万十川サイクリングツアー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レンタサイクルは身体にフィットするものがあると良い。ヘルメットも同様。</li> <li>・ ジップラインとカヤックはオプションで良い。</li> <li>・ 2日目に源流点の往復とサイクリングを入れるとスケジュールがタイトになるので、源流点へは1日目に訪問した方が良い。</li> <li>・ 2日目のランチまでの距離が短すぎる。昼食場所としてもあまりふさわしくない。</li> </ul>	<p>&lt;全般&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Shimanto Source to Seaのツアー名はサイクリングの方に付ける。このコンテンツが最も評価が高いため、今後序列を1番にする。</li> <li>・ 修理できる場所が現時点では行程内で確保できないため、ガイドツアーを基本とする。</li> </ul> <p>&lt;行程&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日目は高知龍馬空港もしくは高知市内からの送迎を基本的に含める。</li> <li>・ 1日目に源流点にそのまま車で行く。天狗高原はオプションとして、基本行程には含めない。</li> <li>・ 2日目の昼食はせいらんの里にお弁当を頼んで大野見の天満高前キャンプ場で食べる。</li> <li>・ ジップラインとカヤックは外す。</li> <li>・ 昼過ぎには中村に到着できるようにして、帰る人は15時の特急に乗れるようにする。もう1泊する人はオプションで河口まで案内する。</li> </ul> <p>&lt;磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニターツアーの結果も踏まえて行程を最適化する。</li> <li>・ 3泊4日の行程を網羅できるMAPを作成する。</li> </ul>
2	Shimanto Source to Sea Walking Tour (四万十川ウォーキングツアー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梶原の街中は見所が集中しているので、サイクリングではなく、ウォーキングの方が良い。</li> <li>・ 梶原のガイドは隈研吾建築をテーマとした方が良い。ガイドも建築を詳しく知っているガイドがいると良い。ガイドがない場合は、案内できるツールを作成できると良い。</li> <li>・ 集合場所は津野町で問題ないが、そこに辿り着くまでの案内が必要。英語だけでなく日本語も併記することで、日本人に尋ねたり、看板と照らし合わせることができるようになる。</li> <li>・ 半家の沈下橋から峠半家を通るルートは途中森に入り2～3km程度川が見えない部分があった。</li> </ul>	<p>&lt;全般&gt; All Over the Shimanto Tourの名前はこちらに付ける。ウォーキングに限定せずに様々なアクティビティで四万十川を満喫できるコンテンツとする。</p> <p>&lt;行程&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2日目にかみこやの体験を入れる。脱藩の道サイクリングはやめる。</li> <li>・ ラフティングを入れる。</li> <li>・ 3日目の後半は、半家駅→長生沈下橋→ホテル星羅 四万十までを歩く。</li> </ul> <p>&lt;磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニターツアーの結果も踏まえて行程を最適化する。</li> <li>・ 3泊4日の行程を網羅できるMAPを作成する。</li> <li>・ 1日目の集合場所である新田バス停までの行き方の案内を作成する。</li> </ul>
3	四万十川カヌートレック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テント泊は無理という人も必ず存在するので、どのような設備なのか写真等を用いて事前に理解を得ることが重要。</li> </ul>	<p>&lt;行程&gt; 四万十市西土佐の橋からスタートし、かわらっこで終了する2泊3日の日程とする。</p> <p>&lt;磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カヌートレックの内容を事前に説明できる英語資料を作成。</li> <li>・ 四万十川の説明や清ぎ方の説明を英語翻訳する。</li> </ul>
4	eバイクで森と里をトリップ 清流ロードサイクリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 源流点からサイクリングをしていた人にとってはあまり魅力的ではないので、ウォーキングツアーのオプションとして考えた方が良い。</li> <li>・ 将来的にはガイドが同行できるようになることが望ましい。</li> </ul>	<p>&lt;磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行程を紹介するMAPを作成する。</li> </ul>
5	手すき和紙作り体験+梶原の町サイクリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梶原の中心部には十分なコンテンツがあるので、1つ1つ時間をかけて街中のウォーキングツアーにした方が良い。</li> <li>・ かみこやでの紙漉き体験は良いコンテンツなので、このオプションの軸にした方が良い。</li> </ul>	<p>&lt;内容全般&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かみこや体験、宿泊+梶原の街中のウォーキングとする。</li> <li>・ ウォーキング部分はセルフガイドにする。</li> </ul> <p>&lt;磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 梶原町が日本人向けに使っている資料を英語に翻訳することで、外国人旅行者がセルフガイドでも満足できるようにする。</li> </ul>
6	四万十川観光と刃物造り鍛冶体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このコンテンツを紹介する際には工房の中の写真を使うなどして、事前に参加者のイメージを合わせる必要がある。</li> </ul>	<p>&lt;磨き上げ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ツアー参加者用の英文案内ツールを作成する。</li> </ul>
7	門前巡路道レトロ日本トリップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レトロというのは日本人向けのテーマ。外国人旅行者には分かりづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニターツアーでの評価が低いので、単独のコンテンツではなく、No.1 Shimanto Source to Sea Walking Tour及びNo.2 All Over The Shimanto with Bike and Kayakに組み込む。</li> </ul>

### 3.8 滞在コンテンツの更なる磨き上げ

専門家等から得た意見をもとに更なる磨き上げを実施した。

#### 1. ツールの作成

外国人旅行者が各コンテンツに参加するにあたっての受入環境等の課題を解消し、コンテンツ参加時の満足度を高めることを目的に、各コンテンツの課題等に応じたツールの作成を行なった。

#### No.1 The Shimanto Source to Sea Bike Trip

##### ①英語MAPの作成

本コンテンツは、サポートカーの同行はあるものの、ガイドが同行しないセルフガイドのツアーとなる。参加者自身で散策するルートを決められるように四万十川を上流から下流まで網羅するマップを作成した。

#### No.1 The Shimanto Source to Sea Bike Trip 英語MAP



#### No. 3 Shimanto River Canoe Trekking (四万十川カヌートレック)

##### ①コンテンツ参加者に事前に提供する持ち物リストとQ&A

コンテンツ参加者が出発前に十分な準備と心構えができるように、持ち物リストとよくある質問へのQ&Aを英文にて作成した。

### Shimanto River Canoe Trekking

#### What to Bring

##### What you will need at a minimum

###### • Waterproof bag

You may want to have at least two bags, e.g. 55L and 30L. Put anything you don't want to get wet in these bags. Basically, it's a safer way to store all your stuff! If you don't have any, you can buy one at Shimantojuku.

###### • Rainwear

We recommend rainwear that has a separate top and bottom and is made of Gore-Tex. (Ponchos are not suitable.)

###### • Change of clothes

We recommend quick-drying polyester or nylon clothes that do not become uncomfortable when wet. To prevent sunburn, please wear long sleeves and long pants, even in hot summer days.

###### • Footwear

Sandals with straps are recommended in summer and boots in winter. Trekking shoes are also good. Flip-flops and other shoes that cannot be fixed at the heel are not acceptable. (You will lose them.)

###### • Socks

A must-have when descending rocky area. You will get wet, so bring plenty of them. Also good for preventing insect bites!

###### • Hat

You can't go down the river without a hat in the direct summer sun. (You will get sunburned.) Be sure to choose a hat with a wide brim and one that will not be blown away by the wind.

###### • Sunglasses and eyeglass straps

Protection from the sun as well as hats. Glasses straps are also a must.

## 4. 滞在コンテンツの販売

### 4.1 販売戦略の策定/販売戦略の実施概要

造成された滞在コンテンツの販売を、事業実施中1か月以上の販売期間を設けて実施し、開発・磨き上げられた各滞在コンテンツの販売にかかる内容を検討し、策定された販売戦略に沿って、販売を実施する販売事業者の、実施にかかる調整を実施した。

	検討会日程			
	日時	場所	参加者	テーマ
販売戦略策定及び次年度販売戦略についての検討会	令和3年 12月23日	オンライン	幡多広域観光協議会 奥四万十観光協議会 高知県観光振興部国際観光課 高知県観光コンベンション協会 四国運輸局 株式会社やまごころ(事務局)	・本事業にて開発・磨き上げたコンテンツについて ・各コンテンツに関する販売体制等について ・今年度及び次年度以降の販売方針について

### 4.2 結果を踏まえての今後の戦略整理

検討会では本年度及び次年度以降の販売方針について、下記のとおり決定した。

#### (1) 本年度

##### ① 幡多広域観光協議会が運営する観光情報サイト「はた旅」での販売

- ・ 1月中旬頃までにコンテンツ情報を英語に翻訳して幡多広域観光協議会へ提供する。
- ・ 1月末までに幡多広域観光協議会が運営する観光情報サイト「はた旅」に掲載する。
- ・ 2月1日～2月28日までの1ヶ月間を本年度の販売期間とする。

#### (2) 次年度以降の販売方針

##### ① ターゲット

- ・ メインターゲットは、本年度設定した欧米豪市場

- ターゲット1：欧米豪出身のサイクリング愛好家 コンテンツNo.1, 5, 6
- ターゲット2：欧米豪出身のウォーキング愛好家 コンテンツNo.2, 3, 4, 5, 6
- ターゲット3：欧米豪出身のアクティブ層 コンテンツNo.3, 4, 5, 6

- ・ 他の市場にも響くのであれば展開する。
- ・ No.4,5,6については、No.1,2,3のオプションとして造成しているが、四万十エリアに滞在している旅行者向けに単品でも販売していく。

##### ② 販売手法

#### A. 幡多広域観光協議会が運営する観光情報サイト「はた旅」での販売

#### B. 旅行会社への営業活動

- ・ 幡多広域観光協議会が参加する旅行会社との商談会にて情報提供を行う。
- ・ 高知県観光コンベンション協会から海外の旅行会社や在日のDMC・ランドオペレーター等への営業活動の際に商材の1つとして紹介する。直接営業活動を行うほか、高知県観光コンベンション協会が委託している東アジア・東南アジアの現地レップへも情報提供を行う。

#### C. 高知県のDMCによる販売

##### ③ 情報発信

- ・ 高知県国際観光課の事業において、市場ごとに適切な時期に情報発信を行うことを検討する。
- ・ 高知県国際観光課では、独自事業の他にも、JNTOの公募にも積極的に応募している。様々な機会を通じて発信を行うことを検討する。



## 5 持続的な仕組みの検討

### 5.1 来年度以降のロードマップの作成

来年度以降の持続可能な仕組みを幡多広域観光協議会と共に検討し、ロードマップとして取りまとめた。

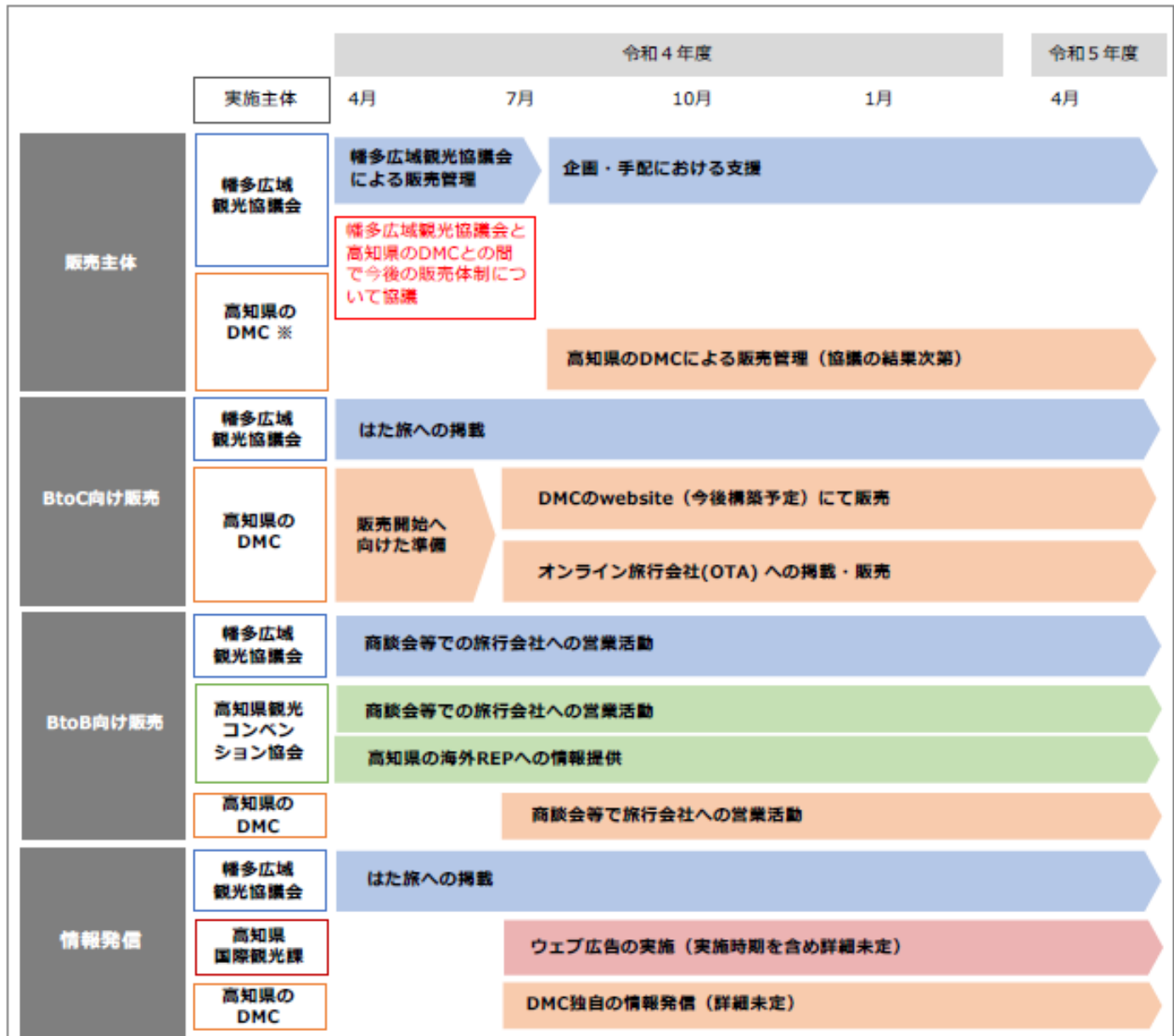
本事業にて造成されたコンテンツは、令和3年度は幡多広域観光協議会が企画、販売、手配を一貫して担う形で販売を行った。令和4年度以降については、外国人旅行者向けに旅行商品の販売を行うDMC（地域に特化した旅行会社）により販売を行うことで、これまで以上に積極的に海外向けの販売に力を入れていくことを検討している。販売体制を移行させるにあたっては、令和4年4月以降に幡多広域観光協議会と候補となる高知県のDMCの間で協議を設け、具体的な条件や役割分担などを決めることとする。

BtoC向けの販売は、引き続き幡多広域観光協議会のwebsiteへの掲載を行う他に、上述のDMCによりDMC独自のwebsiteでの販売及びオンライン旅行会社（OTA）を活用した販売を行う。

BtoB向けの販売は、幡多広域観光協議会、高知県観光コンベンション協会、高知県のDMCがそれぞれの立場で商談会等に参加し、旅行会社への営業活動を行う。

情報発信は、高知県観光振興部国際観光課が、令和4年度の事業にて、本コンテンツを活かした形でのウェブ広告を実施する予定。幡多広域観光協議会および高知県のDMCにおいても情報発信は行っていく。

本年度の販売実績が0件であったため、令和4年度は、まずは販売実績を作ることを目指して進めていく。冬場は実施ができないコンテンツも多いため、海外との往来再開の時期に影響される面もあるが、できる限り早期に販売に向けた取り組みをいく必要がある。



## 6 本事業成果

### 6.1 事業目標に対する成果

アウトプットの目標「造成コンテンツ数」6件以上に対し6件となり達成した。  
 アウトカムは、コロナ禍で0名、0円である。

	項目	目標	実績3月11日時点)
アウトプット	造成コンテンツ数	6以上	6
アウトカム	・令和3年度中に滞在コンテンツを販売する際の参加者数	50名	0名
	・販売金額	1,000,000円	0円

### 6.2 コンテンツの造成方針

コンテンツの造成方針を以下の通りとし、商品造成を行った。

	当初	最終	変更理由
ターゲット	欧米豪のアクティブ層	欧米豪出身のアクティブ層、サイクリング愛好家、ウォーキング愛好家	ターゲットの詳細化による
観光資源	四万十川のアクティビティや文化的な観光資源	四万十川のアクティビティや文化的な観光資源	

### 6.3 造成したコンテンツの高付加価値・地域ならではのポイント

「四万十川上流から下流まで満喫するコンテンツ」と、「道中のオプションとして使えるコンテンツ」を造成し、四万十川のアクティビティや文化的な観光資源を組み合わせる。

### 6.4 造成されたコンテンツ

造成されたコンテンツシートの一例を以下に示す。

**AllOver The ShimantoAdventure Tour** (高知県津野町、梶原町、中土佐町、四万十町、四万十市)

**事業実施前に地域が抱えていた課題**

- ・ターゲットとする層に魅力的な行程を検討する必要がある。
- ・ガイドがないときは案内できるツールを作成できると良い。
- ・集合場所に辿り着くまでの案内が必要。



**課題解決に向けた打ち手**

- ・モニターツアーの結果も踏まえて行程を最適化した。
- ・3泊4日の行程を網羅できるMAPを作成。
- ・1日目の集合場所である新田バス停までの行き方の案内を作成。

**コンテンツを活かした商品概要**

○概要 西日本最長の大河でありながら、今も川と人の暮らしが深くかかわる清流四万十川。日本の原風景のような田舎の景色と自然が豊かに広がる四万十で、アドベンチャートラベルの要素を持たせた新たな旅の提案です。まずは四国有数の絶景を誇るカルスト高原から、幾重にも重なる四万十の山並みを遥かに望んでスタート。高原のふもとで伝統の和紙作り体験や自然と調和を図る隈研吾設計の建築群の探訪、大河が始まる森に入って源流点へのハイクなどで四万十川上流域を旅します。旅の後半では、清流の大峡谷を縫って走るローカル列車の旅に加え、自然の懐深く憩うカナディアン・カヌートレックの川旅など、様々な旅の体験を通して日本の自然と田舎に出会える充実の四日間です。

○料金 170,000円/人 (4名参加の場合)  
 ○対応言語 オプションで通訳(英語)あり  
 ○所要時間 3泊4日

# 四国運輸局 高知県幡多地域(四万十市)及び高知県奥四万十地域(須崎市、津野町、 梶原町、中土佐町、四万十町)における滞在型コンテンツ造成事業 報告書概要版

## 6.5 造成されたコンテンツ一覧

NO	地域名	新規	パシ ョ ン	コンテンツの名称	概要	高付加価値・地域 ならではのポイント
1	津野町 中土佐町 四万十町 四万十市	✓	Outdoor	The Shimanto Source to Sea Bike Trip	清流で名高い四万十川は、源流点から河口まで自然の中をほとんど途切れることなく旅ができる西日本最長で、かつ唯一の大河です。 ゆるやかに流れる川の流域には緑豊かな自然が広がり、日本の原風景とも言える、人と自然が調和した素朴な田舎の風景が旅人を旅の間中魅了し続けます。源流点の緑の森の中へはバイクで行き、山のみもとからサイクリング開始。次第に大きな流れへと姿を変えていく 四万十川の流れて、太平洋へと注ぐ河口までの四万十川の全長196kmを自転車で行き切るアドベンチャーな旅です。 道は全体を通じてほぼ平坦、自転車はレンタサイクル(スポーツバイク・クロスバイク)をご用意、不意のトラブルにも安心なサポートカーが随行します。オプションで大自然カヌーツアーも可。サイクリストのレベルとご要望に応じてツアーをデザインいたします。	四万十川のアクティビティや文化的な観光資源を組み合わせるための、「四万十川上流から下流まで満喫するコンテンツ」として造成。
2	津野町 梶原町 中土佐町 四万十町 四万十市	✓	Nature	All Over The Shimanto Adventure Tour	西日本最長の大河でありながら、今も川と人の暮らしが深くかかわる清流四万十川。日本の原風景のような田舎の景色と自然が豊かに広がる四万十でできる、アドベンチャートラベルの要素を持たせた新たな旅の提案です。 まずは四国有数の絶景を誇るカルスト高原から、幾重にも重なる四万十の山並みと遙かに望んでスタート。 ふもとの町で伝統の和紙作り体験や自然と調和を図る隈研吾設計の建築群の探訪、大河が始まる森に入って源流点へのバイクなどで四万十川上流域を旅します。旅の後半では、清流の大峡谷を縫って走るローカル列車の旅に加え、自然の懐深く憩うカナディアン・カヌートレックの川旅など、様々な旅の体験を通して日本の自然と田舎に出会える充実の四日間です。	四万十川のアクティビティや文化的な観光資源を組み合わせるための、「四万十川上流から下流まで満喫するコンテンツ」として造成。
3	四万十市	✓	Outdoor	四万十川カヌートレック	西日本最長の四万十川はまた、人工物で遮られることなく自然の中をのんびりと長距離の水上の旅ができること で、カヌーイストにとっては国内随一の聖地と言われています。 このプログラムではカナディアンカヌーに3日分の道具や食料を積み込んで、途中の川原でキャンプしながら、自然の懐深くカヌーで四万十を旅します。 本当に静かな空間で過ごすということが大事なんじゃないかと、カヌートレックを主催する四万十塾のスタッフがつぶやきました。 ただ木の葉が流れていくように川を旅する3日間、ずっと自然の中です。	四万十川のアクティビティや文化的な観光資源を組み合わせるための、「四万十川上流から下流まで満喫するコンテンツ」として造成。
4	四万十市	✓	Outdoor	eバイクで森と里をトリップ 清流ロードサイクリング	日本で最も有名な川のひとつである四万十川の本流や、その支流に沿った交通量の少ない道を、清流の景色に癒されながら、森、里をのんびりと走る、自然との対話も爽やかなサイクリングです。 坂道も想像以上に楽に登れるeバイクを使って、美しい川の景色が途切れることなく続く黒尊川(日本の名水百選に選出)や、穏やかな人の暮らしが伝わる里の景色など、奥深く入ってこそ楽しめる日本を探訪します。汗も快感に感じられるツーリングで、日本の自然と田舎満喫の旅をお約束します。地元のメカニックがサポートカーで同行します。	四万十川のアクティビティや文化的な観光資源を組み合わせるための、「道中のオプションとして使えるコンテンツ」として造成。
5	梶原町	✓	Art	手すき和紙作り体験+隈研吾の建築めぐり	土佐和紙の美しさに惚れ込んで、高知に移り住んできたオランダ人のロギールさん一家。和紙の材料となる楮(こうぞ)やミツマタがとれる四万十の源流の森の工房で、伝統の技術にアート感覚を取り入れた和紙作りを行っています。 体験では、材料を叩きから始めて紙すきを行い、里の周辺にある草花を思い思いにちりばめて和紙を作ります。乾燥までには時間がかかるため、後日郵送にてご希望の場所にお届けします。 体験の後は、車で15分ほどの梶原の町に移動して、今を時めく隈研吾さんが建築家として開眼した梶原の町の作品群をめぐります。(英文の案内書を差し上げます)オプションのおすすめは、ゆすはら雲の上観光協会が貸し出すeバイクを使ったサイクリング。歴史ある古い街道を経て、風に揺れる青々とした棚田や、大きな草ぶき屋根を載せたレストランへも向け、日本の風情が楽しめます。	四万十川のアクティビティや文化的な観光資源を組み合わせるための、「道中のオプションとして使えるコンテンツ」として造成。
6	四万十市	✓	Tradition	清流四万十川観光と鍛冶屋体験	清流四万十川の畔にある工房での鍛冶屋体験と四万十川観光を便利にセット。はるばるやって来られる方のために、四万十市内から送迎の車で30数分の所にある工房までの途中、観光の名所である沈下橋や遊覧船(屋形船)に立ち寄り四万十川の自然をお楽しみいただけます。 鍛冶屋体験では最初にひととおりの説明の後、インストラクターの手ほどきで真っ赤に焼けた鉄を叩いて鍛え、刃物の形に整えていきます。 何度も何度も叩く鉄に自分の気持ちが次第にこもっていくような不思議な面白さが鍛冶屋体験の魅力。 鍛冶屋・刃物造りは外国人に特に人気の日本ならではの体験です。主催のインストラクターは英語が堪能。 これまで体験した外国人からの評価も最高クラスです。	四万十川のアクティビティや文化的な観光資源を組み合わせるための、「道中のオプションとして使えるコンテンツ」として造成。